

厚生関係

●主たる事業

△コミュニティバス事業
△バイオマス推進事業

●審査内容の主なもの

問 コミュニティバスの運行について、期限とその間の費用負担はどうなるのか。

答 バスの減価償却期間である5年間は最低限運行し、その間は運行経費から運賃収入を除いた額をフジの支援を受けながら松前町が負担します。

問 現在使用している福祉バス車両は、どうするののか。

答 現在各課において活用方法を調査中でありその結果を受けて今後検討していきます。

問 廃食用油回収に伴う今後の費用および設置場所について、各地区に設置すれば住民に対してもっと資源循環型社会を啓発できるのではないか。

答 民間に売り渡すので費用はかかりません。設置場所については今回3地区公民館及び庁舎に回収ボックスを置く予定です。

産業建設関係

●主たる事業

△工場等設置・雇用促進奨励金
△北黒田沿岸整備事業

●審査内容の主なもの

問 下水道事業は例年予算繰越がされているのに今回の補正は、職員一名減によるものになら

ているが、事業の執行に問題はないか。

答 事業計画の見直しを行なっているため、今後は計画を調整し、繰越についてはできるかぎり解消していきます。

問 農地・水・環境保全向上対策に取り組んでいる地区が5地区とのことだが、行政から取り組むよう提案はしているのか。

答 事業が創設された時は、地区へ出向いて説明し、また役場においても説明会を実施し、事業実施段階においても逐次、事業がスムーズにいくよう指導を行ないました。今後も事業を推進して行きます。

問 大きな工場が増設されることにより、周辺地域の環境を含め公害などの問題がでてくるが、適切に対応できているか。

答 東レ(株)については、環境審議会の承認を経て環境保全協定書を結んでいることから、地

域の環境保全については心配ないと考えています。

問 水産加工施設の移転については関係者と合意形成はとれているか。

また、関係者全員との合意ができる可能性のもとで予算計上すべきではないか。移転については個別か一団で移転させるのか。

答 関係者には7月頃には5回目の説明会を予定しており、合意形成を図って行くつもりです。

予算の計上時期については、県が国に対し



北黒田沿岸整備測量

一般会計補正予算(主なもの)
補正総額 2億1,755万3千円

		(万円)
総務	防災事業(コミュニティ助成事業助成金等)	265
	インターネット基盤整備事業	8
	コミュニティバス事業	2,550
衛生	バイオマス推進事業	77
農林水産業	農地・水・農村環境保全向上支援対策事業	70
	土地改良県営事業負担金(楠池、ため池等整備事業)	1,312
商工	工場等設置・雇用促進奨励金	2,500
土木	北黒田海岸整備事業	1,392
	道路新設改良事業(町道筒井徳丸線)	16,949
	県営事業負担金(鉄道高架県単独事業)	171
教育	スクールソーシャルワーカー事業	55
	教職員用パソコン導入事業	1,595
	小学生のための音楽鑑賞会事業	50

条例の一部改正

●手数料条例の一部を改正する条例

●税条例の一部を改正する条例

●国民健康保険税条例の一部を改正する条例

議員提出議案

●農業委員会選任委員2名を推薦

事業費の概算要求を行っており町としても同調する必要があることから予算の計上を行いました。また、移転方法や事業の推進については、現在、移転候補施設が6施設あるが、移転条件を全ての関係者が承諾した上での一団移転は非常に難しいと考えます。最終的に移転しなかった関係者への交渉は愛媛県が行うものと認識しています。

岡井 馨 一郎
早瀬 武 臣
平成20年7月20日就任
(任期3年)